

（表面）

基本調査票	調査年月日	/ /	台帳番号 No.
--------------	-------	-----	----------

【1 空家等基本情報】

所在地（地番）	東海村		建物登記	有 ・ 無
所在地（住所）	東海村		建物抵当	有 ・ 無
建物用途	戸建住宅・その他（ ）	水道・井戸使用状況	使用 ・ 休止	
建物構造	木造・軽量鉄骨造・鉄骨造・コンクリート造・組積造・その他（ ）			
階 数	階	建築年月	年	月
延べ床面積	m ²	敷地面積	m ²	
用途地域	市街化区域・市街化調整区域	地 目	宅地・その他（ ）	

【2 所有者等基本情報】

ふりがな		【所有者の居住していない理由】
所有者氏名		
所有者住所	※（ ）	〒 —
管理者氏名	複数 <input type="checkbox"/>	Tel : ()
管理者住所	複数 <input type="checkbox"/>	〒 —

※住民票登録地以外の場所に常時居住している場合は、その所在地を（ ）に記入すること。

【3 外観目視敷地外調査状況】

確 認 内 容		確認ができた項目に○印を記入	
1 保安上危険 [別表第1]	破損・不同沈下・傾斜	有	無
	屋根・外壁(脱落・飛散)	有	無
	建築設備(脱落・転倒)	有	無
	門・塀・看板等(破損・傾斜)	有	無
2 衛生上有害 [別表第2]	有	無	
3 景観を損なっている [別表第3]	有	無	
4 周辺環境の保全 [別表第4]	有	無	
5 立木等の管理(繁茂・倒木)	有	無	
6 写真で1～5のいずれかを確認	有	無	
立入調査の判断	1以上の「有」があれば、 立入調査（様式第3号） により外観目視敷地内調査の実施		管理空家等として把握

【決裁欄】

部長	課長	課長補佐	係長	担当

【調査者】

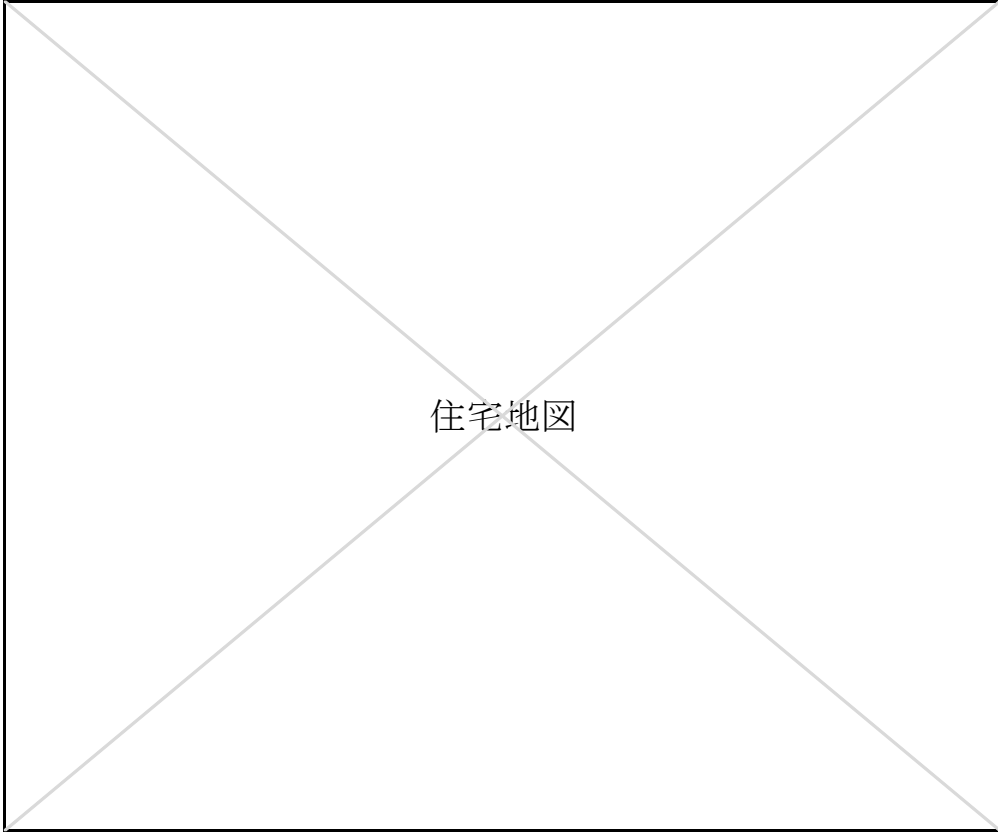
⑩

(裏面)

案内図

No. _____

所在地：東海村



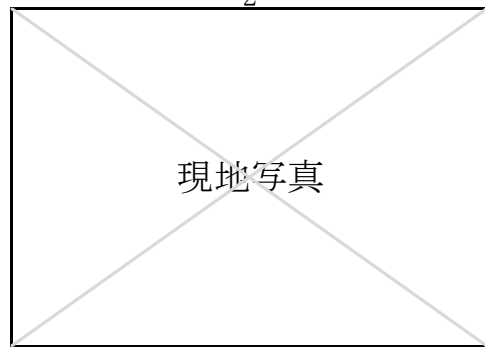
1



2



3



4

空家等相談等受付簿

受付番号

部 長	課 長	課長補佐	係 長	担 当	都市整備課
					記録者 職氏名
台帳番号/新規		相談等受付年月日 年 月 日			区 分
相談者等氏名/連絡先 ()					電 話・来 訪 その他 ()
相談者等と空家等所有者等との関係 (<input type="checkbox"/> 本人/親族 <input type="checkbox"/> 近隣住民 <input type="checkbox"/> その他)					
基礎情報 空家等所在地 : 東海村 <input type="checkbox"/> 建築物所有者 : <input type="checkbox"/> 土地所有者 :					
【相談・通報・その他 () 内容】 (使用の実態, 草木の繁茂, 害獣害虫, 利活用, 除却等を確認)					
【対応状況】					
【備考】					

様式第3号（第4条関係）

立入調査票		調査回数	第 回	台帳番号	No.		
1 そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態				調査年月日	/ /		
区分	箇所	調査項目	配点	影響度（各項目の該当欄に○印を記入）			評価点
				低（×0）	中（×0.5）	高（×1）	
建築物	基礎	不同沈下	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
		亀裂、ひび割れ、変形又は破損	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	土台	腐朽、破損又は欠損	30	なし	部分的にあり	全体的にあり	
		腐食又はアリ害による断面欠損	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	基礎・土台	ずれ	30	なし	—	あり	
	柱・はり	腐朽、破損又は欠損	30	なし	部分的にあり	全体的にあり	
		腐食又はアリ害による断面欠損	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
		傾斜（水平距離 d / 鉛直距離 h）	50	$d/h \leq 1/60$	$1/60 < d/h \leq 1/20$	$d/h > 1/20$	
	各部材の接合部	亀裂、ひび割れ、変形又は破損	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	屋根	腐朽、不陸、剥離、破損又は脱落	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	ひさし・軒	腐朽、不陸、剥離、破損又は脱落	10	なし	—	あり	
	外壁	腐朽、剥離、破損又は脱落	30	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	看板・給湯設備等	剥離、破損、脱落又は転倒	10	なし	支持部材に腐食あり	転倒等あり	
屋外階段・バルコニー 門・塀	腐食、破損、脱落又は傾斜 ひび割れ、破損又は傾斜	10 50	なし なし	簡易修理可 簡易修理可	撤去の必要性あり 崩壊等の危険性あり		
擁壁	擁壁	水のしみ出し又は流出	30	なし	—	あり	
		水抜き穴の詰まり又はひび割れ	50	なし	—	あり	
他法令	建築基準法	違反建築物又は既存不適格建築物	30	なし	—	あり	
		耐震基準に適合	30	2000.6以降	1981.6～2000.5	1981.5以前又は不明	
	消防法	火災予防の観点から隣接地への影響	50	建物高さ<境界までの距離	—	建物高さ≥境界までの距離	
	道路法	道路交通の支障の観点から前面道路への影響	50	建物高さ<境界までの距離	—	建物高さ≥境界までの距離	
	災害救助法 民法	災害時に障害物の除去の観点からの影響 落下物の危険等	30 50	なし なし	— —	あり あり	
判定結果		配点合計	870	特定空家等指定ボーダーライン (合計×0.5)	435	評価点合計	
特記事項						特定空家等 判定割合(%)	

2 そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態

区分	箇所	調査項目	配点	影響度 (各項目の該当欄に○印を記入)			評価点
				低 (×0)	中 (×0.5)	高 (×1)	
建築物	吹付け石綿等	吹付け石綿等が飛散し、又は暴露する可能性	50	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	浄化槽等	汲み取りをしないで放置	10	なし	—	あり	
		破損による汚物の流出及び臭気の発生	20	なし	あり	著しくあり	
	排水等	排水等の流出及び臭気の発生	10	なし	あり	著しくあり	
敷地	建築物周辺	生活ごみが敷地内に放置又は散乱	30	なし	ごみ袋5・6袋程度	ごみ袋10袋以上	
		家電等の粗大ごみの放置又は散乱	10	なし	2・3個程度	5個以上	
		廃材の放置又は散乱	10	なし	軽トラック1台分	2tトラック程度	
		生活ごみの放置又は不法投棄による臭気の発生	10	なし	あり	著しくあり	
		多数のねずみ、はえ、蚊等の発生	30	なし	あり	著しくあり	
その他	近隣からの苦情が行政に寄せられている	50	なし	—	あり		

判定結果	配点合計	230	特定空家等指定ボーダーライン (合計×0.7)	161	評価点合計	
特記事項					特定空家等 判定割合 (%)	

3 適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態

区分	箇所	調査項目	配点	影響度 (各項目の該当欄に○印を記入)			評価点
				低 (×0)	中 (×0.5)	高 (×1)	
建築物	外壁	汚物, 落書き等の汚れたまま放置	10	なし	—	あり	
		外見上大きな傷み又は汚れをそのまま放置	30	なし	—	あり	
		塗装が色落ちし, 壁面がまだらのまま放置	10	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	屋根	破損, 崩落等をし, そのまま放置	30	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	窓	ガラスが割れたまま放置	30	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	カーテン・障子等	カーテン・障子等がボロボロのまま放置	30	なし	—	あり	
	看板	破損し, 又は汚損したまま放置	10	なし	部分的にあり	全体的にあり	
	門扉	破損し, 又は歪んだまま放置	10	なし	—	あり	
敷地	立木等	外壁が藁により覆われた状態	30	なし又は一部あり	広範囲にあり	全体的にあり	
		建物全体が立木で覆われた状態	30	なし又は管理済	広範囲にあり	全体的にあり	
		草等が伸び, 繁茂した状態	30	なし又は管理済	広範囲にあり	全体的にあり	
		立木の枝等が敷地外へ越境	30	なし又は管理済	—	あり	
その他	敷地内に生活ごみ又は粗大ごみをそのまま放置		50	なし	散乱の状態	山積みの状態	
	近隣からの苦情が行政に寄せられている		50	なし	—	あり	

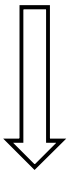
判定結果	配点合計	380	特定空家等指定ポスターライン (合計×0.7)	266	評価点合計	
特記事項					特定空家等 判定割合 (%)	

4 周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態							
区分	箇所	調査項目	配点	影響度 (各項目の該当欄に○印を記入)			評価点
				低 (×0)	中 (×0.5)	高 (×1)	
敷地	立木	腐朽, 倒木又は枝折れ	50	なし又は管理済	—	あり	
		近隣の道路又は敷地内に枝等が散乱	30	なし又は管理済	広範囲にあり	立ち入りできない	
		立木の枝等が敷地外へ越境	30	なし又は管理済	広範囲にあり	通行の妨げ等あり	
動物・虫	建築物	鳴き声等の音が頻繁に発生	30	なし	時々物音あり	頻繁に物音あり	
		ふん尿その他の汚物の放置により臭気の発生	30	なし	—	あり	
		敷地外に毛又は羽毛が散乱	10	なし	—	あり	
		多数のねずみ, はえ, 蚊, のみ等が発生	10	なし	—	あり	
		侵入の痕跡	10	なし	—	あり	
		シロアリの発生	10	なし	痕跡あり	目視にて確認	
	敷地	周辺の土地, 家屋に侵入	10	なし	—	あり	
管理不全	建物	出入口扉が未施錠又は破損	30	なし	侵入が困難な箇所	容易に立入可能	
		窓ガラスが未施錠又は破損	30	なし	侵入が困難な箇所	容易に立入可能	
	敷地	ガスボンベがそのまま放置	50	なし	—	あり	
その他		近隣からの苦情が行政に寄せられている	50	なし	—	あり	

判定結果			配点合計	380	特定空家等指定ボーダーライン (合計×0.7)	266	評価点合計	
特記事項							特定空家等 判定割合 (%)	

立入調査票	総合判定結果	台帳番号	No.
-------	--------	------	-----

調査項目の判断状態	A評価	B評価	C評価	判定
1 そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態 評価点 点 / 870 点	ボ-ダ-ライン マイナス5%以下 [412点] 以下	ボ-ダ-ライン マイナス5%以内 [413～434点]	評価点の50% 特定空家等指定ボ-ダ-ライン [435点]	
2 そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態 評価点 点 / 230 点	ボ-ダ-ライン マイナス5%以下 [153点] 以下	ボ-ダ-ライン マイナス5%以内 [153～160点]	評価点の70% 特定空家等指定ボ-ダ-ライン [161点]	
3 適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態 評価点 点 / 380 点	ボ-ダ-ライン マイナス5%以下 [252点] 以下	ボ-ダ-ライン マイナス5%以内 [253～265点]	評価点の70% 特定空家等指定ボ-ダ-ライン [266点]	
4 周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態 評価点 点 / 380 点	ボ-ダ-ライン マイナス5%以下 [252点] 以下	ボ-ダ-ライン マイナス5%以内 [253～265点]	評価点の70% 特定空家等指定ボ-ダ-ライン [266点]	



その他の特記事項

総合判定基準	総合判定
空家等⇒全部A評価 特定空家等予備軍⇒B評価が1つ以上 特定空家等⇒C評価が1つ以上	
空家等 ・ 特定空家等予備軍 ・ 特定空家等	

備考 特定空家等予備軍に該当した場合は、東海村空家等対策の推進に関する特別措置法施行細則第4条第1項ただし書により、建築物内部立入調査票（様式第4号）による空家等の内部立入調査を行う。

様式第4号（第4条関係）

建築物内部立入調査票	通知送付日	/ /	台帳番号	No.
				調査年月日

区分	箇所	調査項目	調査方法	基準値	状態	判定 (○・×)
建築物	基礎 <small>(立ち上がり部分を含む。)</small>	さび汁又は白華を含むひび割れ	計測又は目視	幅0.5mm以上	mm	
		さび汁又は白華を含む欠損	計測又は目視	深さ20mm以上	mm	
	床	勾配（2点間を結ぶ直線の水平面に対する角度）	3m以上の離隔距離で計測	6/1000以上		
		著しいアリ害（床下部分を含む。）	目視	なし		
	柱・はり	傾斜（最大層間変形角）	2m以上の延長部で計測	6/1000以上		
	内壁	内壁下地材まで達するひび割れ、欠損他	計測又は目視	幅0.5mm以上	mm	
		傾斜（最大層間変形角）	2m以上の延長部で計測	6/1000以上		
		雨漏りの跡	目視	なし		
	天井	浮き、はらみ又は剥落	目視	なし		
		雨漏りの跡	目視	なし		
	その他	著しい腐食等	目視及び打診又は触診	なし		



その他の特記事項

総合判定基準	総合判定
空家等⇒全部○の判定	
特定空家等⇒×評価が1つ以上	
空家等 ・ 特定空家等	